



廣部 真造 議員

問 新たな観光客のターゲット設定と宣伝手段について伺う。

答 商工観光部長

本市の認知度向上を図るうえで重要なキーワードを作製しており、視覚に訴える映像や心に残るフレーズなど、本市の観光イメージを前面に打ち出し、行政や観光事業者が一体となって統一性のある効果的な情報発信に取り組みます。

また、観光客のターゲットは、金沢市を訪れた観光客の属性から60代女性の方を中心とし、視覚的・心理的に高島市を印象付けられるよう取り組みを行っています。

宣伝手段については、金沢駅におけるデジタルサイネージを活用した宣伝や令和6年3月

北陸新幹線敦賀駅
開業を契機としての
観光振興への取り組み
と課題解決について

問 新たな観光客のターゲットをどうするのか

答 首都圏、北陸3県の60代女性を中心とします

にSNSによるプッシュ型の広告を東京都・埼玉県の首都圏と北陸3県で実施することとしており、これらの媒体からびわ湖高島観光協会ホームページへと誘導し、詳細な観光案内に繋がっていきたくと考えています。



金沢駅デジタルサイネージ
(引用: Re-urbanization-再都市化-ホームページ)

問 近隣市町との連携についての計画・方針について伺う。

答 商工観光部長

敦賀市や若狭湾観光連盟、北びわ湖広域観光協議会との広域連携に取り組んでおり、新たな旅行者のニーズに対応するためにも研究や情報交換を密にして相互理解をより一層深めていく必要があると考えています。

問 受け入れ態勢の課題について伺う。

答 商工観光部長

二次交通をはじめとした完全な態勢整備には時間を要しますが、まずは早期にできることから取り組み、並行して課題解決に向けた取り組みを一步ずつ進めます。

問 新幹線の延伸に加えて敦賀と高島を結ぶトンネル構想があるが、道路交通網の更なる改善を促進する動きは予定されているのか。

答 市長

広域的な道路整備については、敦賀、美浜ともに同様のトンネル整備構想が立ち上げられ、それぞれに期成同盟会があります。現実問題として課題が多いのではないかとこのことで、福井県側での調整を見守らせていただいています。高島のような地域振興に繋がるということは間違いのないことと認識しており、今後も調整連携をしながら進めます。



北陸新幹線敦賀駅
(引用: 公益社団法人 福井県観光連盟ホームページ)